

あさひ

青指だより

第93号

令和5年度活動記録



発行 旭区青少年指導員連絡協議会
 編集 広報部会
 事務局 旭区役所地域振興課
 TEL:045-954-6099

旭区マスコットキャラクター あさひくん



第13回 旭区 学校音楽祭

12月16日(土)、旭公会堂ホールで学校音楽祭が開催されました。
 今回は5団体が参加し、美しい歌声と力強い演奏が公会堂に響きわたりました。公会堂では、保護者の皆さんが写真を撮ったり、録音をしたりしていました。
 また、YCVがビデオ収録を行い、後日テレビやネットで放映されるということで、子どもたちは緊張した面持ちでしたが、日頃の練習の成果を発揮していました。
 我々、青少年指導員は、音楽祭がスムーズに進行するように、受付、誘導、舞台転換、司会などの業務をおこなっていました。

第18回 旭区大なわとび大会

コロナ禍の影響で延期されておりました「旭区大なわとび大会」が2月3日(土)に旭スポーツセンターにて4年ぶりに開催されました。
 参加者からは「この日を待っていた!」、「ようやく子どもたちの練習成果を披露できる!」といった、この大会への参加を心待ちにしていた方の声を聞くことができました。
 この大会は3つの部門にわかれ、5人から9人でチームを組んで、3分間の制限時間内に跳ぶ回数を競うものになります。
 参加者は13地区30チーム、269名。なわを回す人、跳ぶ人、応援する人が一体となり、跳んだ回数を声に



出し、なわに引っかかった友達に「ドンマイ」と励ましあう声が体育館に響きわたる、活気のある楽しい大会となりました。

低学年の部			高学年の部			混合の部		
1位	旭南部	51回	1位	万騎が原	223回	1位	万騎が原	142回
2位	若葉台	49回	2位	川井	105回	2位	旭南部	137回
3位	万騎が原	33回	3位	旭南部	62回	3位	市沢	103回

編集後記
 コロナ禍が明け、今年度はたくさんの活動ができました。長く休止状態だったことで変更や新たな取り組みもあり、試行錯誤の中たくさんの方にご協力いただきましたことをここに御礼申し上げます。
 久しぶりの活動では子供たちの顔つき顔ぶれが大きく変わり、成長の早さを痛感しました。定期的な活動で見守ることの大切さを感じた一年でした。

旭ふれあい区民まつり

竹って硬くて穴をあけるだけでも大変だ～

秋も深まってきた10月15日(日)、旭ふれあい区民まつりが旭区役所を中心に複数の会場で開催されました。当日は朝から横殴りの雨。準備は大変でしたが次第に小雨になり、午後には時折陽射しも降り注ぐほどに回復。子どもたちを含む多くのお客さんに来場いただきました。
 物販や地域活動団体のPRなど多くのブースが並び、中、「竹細工教室」を展覧。竹とんぼや竹笛、一輪挿しなど竹を加工して作っていく教室を開催しました。子どもたちはのこぎりやナイフなど日頃使い慣れない道具にひと苦勞。そこは青少年指導員の腕の見せ所。見本を見せたり、手を添えてあげたりとやさしく指導していきます。上手に出来た時の子どもたちの嬉しそうな笑顔は我々への最高のプレゼント。
 「竹とんぼは出来たけど、どうやって飛ばすのかな?」

飛ばしたがる子どもたちに人に当たらない広い場所で飛ばすよう教えながら、秋空に高く舞い上がる竹とんぼを見てみたいとふと思った秋の一日でした。



旭区親子野外自然体験活動

親子野外自然体験活動の季節がやってきました。11月4日(土)・25日(土) 両日も晴天に恵まれましたが、片や半袖、片や長袖に上着と体感は大い違いがありました。
 初めはウォークラリー、地図を手にチェックポイントの課題をこなします。クイズあり歌唱あり…次はモルックとタイムアタック。どちらも単純な遊びなのに、なぜかムキになってしまう楽しさがあります。

その後、活動センターのスタッフに薪割についてわかりやすく教えてもらいました。薪割→火起こし→焼き芋・フランク・焼きそばの調理。青少年指導員作成の豚汁をもらってお食事タイム。デザートは焼き芋と焼きマシュマロ。オッと忘れてはいけません。白玉団子もおいしくいただきました。最後に片づけ。天板や調理器具はきれいに返します。かまどの掃除、炭の始末。お楽しみ後もやることはたくさんありますね。



「スタッフが笑顔で動いていると子どもの笑顔もふえる」という思いを持って、私達も楽しくすごしました。

地

区

だ

よ

り

笹野台地区

モルック大会

12月2日(土) 笹野台小学校の校庭でモルック大会(低学年)を実施しました。北欧のフィンランドが発祥のスポーツで、20センチほどの木の棒を12本のピンに向けて投げ、倒したピンに書かれた点数などの合計が50点になるように競うスポーツです。

参加者は親子2人で1チームとして全部で10チーム。モルックをやるのは初めてと言う親子は4チームいました。

ルールを説明して競技を開始。最初はピンに当たらずに不満そうな顔も、繰り返し投げているとだんだん当たる様になり、得点が入ると笑顔になってきました。

最後50点にする為に狙ったピンに投げて見事に倒すと、大きな声を上げて喜び合っていました。



希望が丘東地区

地元地区の人達と共に

希望が丘東地区では、独自行事(毎月の防犯パトロール他)以外に、連合自治会・スポーツ推進委員・社会福祉協議会等の行事へ積極的に参加しています。

7月30日(日) 地区連合主催の夏祭りに、校内警備と出店(くじ引き)で参加しました。猛暑の中、5000人ももの来場があり、大変盛り上がりました。



10月8日(日) スポーツ推進委員&連合共催による運動会では、審判と競技進行を担当しました。天候にも恵まれ、半日のプログラムで、各選手は頑張っていました。(写真はボール運び)



11月19日(日) 社会福祉協議会&家庭防災委員・連合共催による“ふれあい広場&防災フェスタ”の青指コーナーとして出店(くじ引き)と紙芝居実演を行い、子どもたちに喜んでもらえました。(写真の青のテントがくじ引き、手前側が紙芝居) さらに、設営・撤収のお手伝いもしました。

今後も、“地元地区の人達と共に”活動して行きたいと思っています。

希望が丘南地区

クリーン活動開催

12月3日(日) クリーン活動を開催しました。小学生・中学生・高校生、各自治会・子ども会から約350名が参加されました。当日天気にも恵まれ、8自治会のコースに分かれゴミ拾いをしてもらいました。参加者からの感想としてゴミを拾うことだけでなく、普段接点のない年代の子どもたちと話ができて楽しかった。また子どもたちがゴミを拾うことに夢中になり車道に出てしまったので、注意が必要だとの意見が聞かれました。この子どもたちが大人になったら、ポイ捨てなどしない人になってくれると思います。



さちが丘地区

やっと行事が復活してきました!

さちが丘地区の連合自治会は4つの単位自治会から構成され、現在5名の青少年指導員で活動しています。連合自治会にはレクリエーション部があり、スポーツ推進委員と青少年指導員は全員がその部に所属します。今年の10月に4年ぶりで大運動会が開催されました。その際は赤いシャツを着たレクリエーション部員が中心となって運営し、心地良い汗を流しました。



また11月には地区社会福祉協議会主催のふれあい福祉祭りが、これも4年ぶりに行われました。ここでは「竹ぼっくり」を青少年指導員が担当し70セットを販売しました。一時は10人ほどの列になり、旭区社会福祉協議会の担当者や土木事務所の所長さんにも手伝っていただいて、何とか乗り切りました。ご協力誠にありがとうございました。



二俣川地区

ふれあい餅つき大会

冬晴れの12月10日(日)、二俣川地区社会福祉協議会の主催でふれあい餅つき大会が開催され、約1000名の参加者で賑わいました。参加者へは、あんこ餅、きな粉餅、白餅に加えて、豚汁が振舞われたほか、子どもたちが餅つきを体験しました。小さな杵を使って餅つきをしている子どもたちの姿は、写真を撮影した家族にとって、今年のベストショットの一つになったことでしょう。

二俣川地区の連合自治会と社会福祉協議会参加団体とともに、運営スタッフとして参加した青少年指導員は、餅つき担当として全部でもち米120kgをつき上げました。チョット疲れましたが、これからも地域の皆さまと共に、青少年の応援団として、活動してまいります。

